

平成28年度がんの教育総合支援事業：文部科学省委託事業  
モデル校がん教育講演会要項

1 趣 旨

生涯のうち国民の二人に一人がかかると推測されるがんは重要な健康課題であり、健康に関する国民の基礎的教養として身に付けておくべきものとなりつつある。政府が策定したがん対策推進基本計画（平成24年6月）において、「子どもに対しては、健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理し、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい認識をもつよう教育することを目指し、5年以内に、学校での教育の在り方を含め、健康教育全体の中で「がん」教育をどのようにするべきか検討し、検討結果に基づく教育活動の実施を目標とする」こととされている。

このようながん教育をめぐる状況を踏まえ、学校における「がん教育」の内容や方法について、モデル校での授業実践や指導者研修会の開催により、効果的ながん教育のあり方を検討していくものである。

2 日 時 平成28年11月30日（水）

3 会 場 山形県立酒田西高等学校体育館 酒田市東泉町5-9-5

4 主 催 山形県教育委員会

5 参加対象者

(1) 酒田西高等学校1学年197名、1学年担当教職員

6 内 容

(1) がんの教育総合支援事業講演会

講 師 山形県立河北病院緩和ケア科・地域医療支援部  
奥山 慎一郎 医師

内 容 ①がんの病理的理論  
②緩和ケア  
③いのちについて